

第 21 回 島田市民室内ペタンク大会 競技規則

- 1 ゲームは得点を 9 点先取したチームが勝者となる。
一方のチームが競技途中で 9 点となり、それ以上得点を取る必要がなくなった場合は、そこで競技を終了する。(残ったボールは投げない)
- 2 1 試合は 20 分以内とする。計時係(本部)は 20 分で吹笛する。
 - (1) 20 分で両チームとも 9 点に満たない場合は、その時点での得点で勝者を決める。
但し、原則として吹笛された時点がメーヌの途中の場合は、そのメーヌは有効とし最後まで競技を続け得点に加える。
 - (2) メーヌのスタートとは最初のボールの位置が確定した時点のことをいい、メーヌの終了とは最後のボールの位置が確定した時点のことをいう。(ビュットの位置が確定していてもメーヌがスタートしたとはみなされない)
- 3 試合中の選手交代は認める。
3 人以上でチーム構成している場合、1 メーヌごと交代することができる。(メーヌ途中の交代は認められない)
- 4 ビュットからの距離が同じになった場合は次のとおりとする。
 - (1) メーヌ途中で同じ距離になった場合は、同距離にしたチームがさらにもう一球投げる。
それでも同距離の場合は、相手チームが投げ、以降どちらかのボールが近くなるまで交互に投げる。
 - (2) メーヌ終了時に同じ距離になった場合は、そのゲームはドローとし 0 対 0 とする。
- 5 ビュットの投げなおしは 3 回までとし、3 回とも失敗した場合は相手チームにその権利が移る。
- 6 投げたボール(ビュットを含む)が壁に当たった場合は、そのボールは無効とする。
- 7 投球方法は次のとおりとする。
 - (1) 投球時はサークル内より足を踏み出して投げてはいけない。
サークルを踏んだまま投げたり、投げたボールが着地する前に足が地面から離れたり、サークルの外へ踏み出したりした場合は無効とすることもある。
 - (2) ボールは投球者の腰より下を通過していれば、どんな投げ方でもよい。
投球違反して投げられたボールは原則として無効とする。
但し、車椅子使用者の投球方法は自由とし、規制されない。
- 8 無効球に当りボールが移動した場合は、移動した全てのボールはそのままにしてプレーを続ける。(元の位置には戻さない)
最終球が無効球になり、そのボールによって移動した場合は、移動したままの状態でメーヌの終了とする。
- 9 順位決定は次の通りとする。
 - ① 勝率の高い順に順位を決定する
 - ② 勝率が同じ場合は得失点の多い順に順位決定する
 - ③ 得失点と同じ場合は直接対戦の勝者を上位とする
- 10 全ての判断は審判がその権利を握る。
- 11 各コートともスタート位置を固定する。